

あらぶんちよ散歩

vol.110

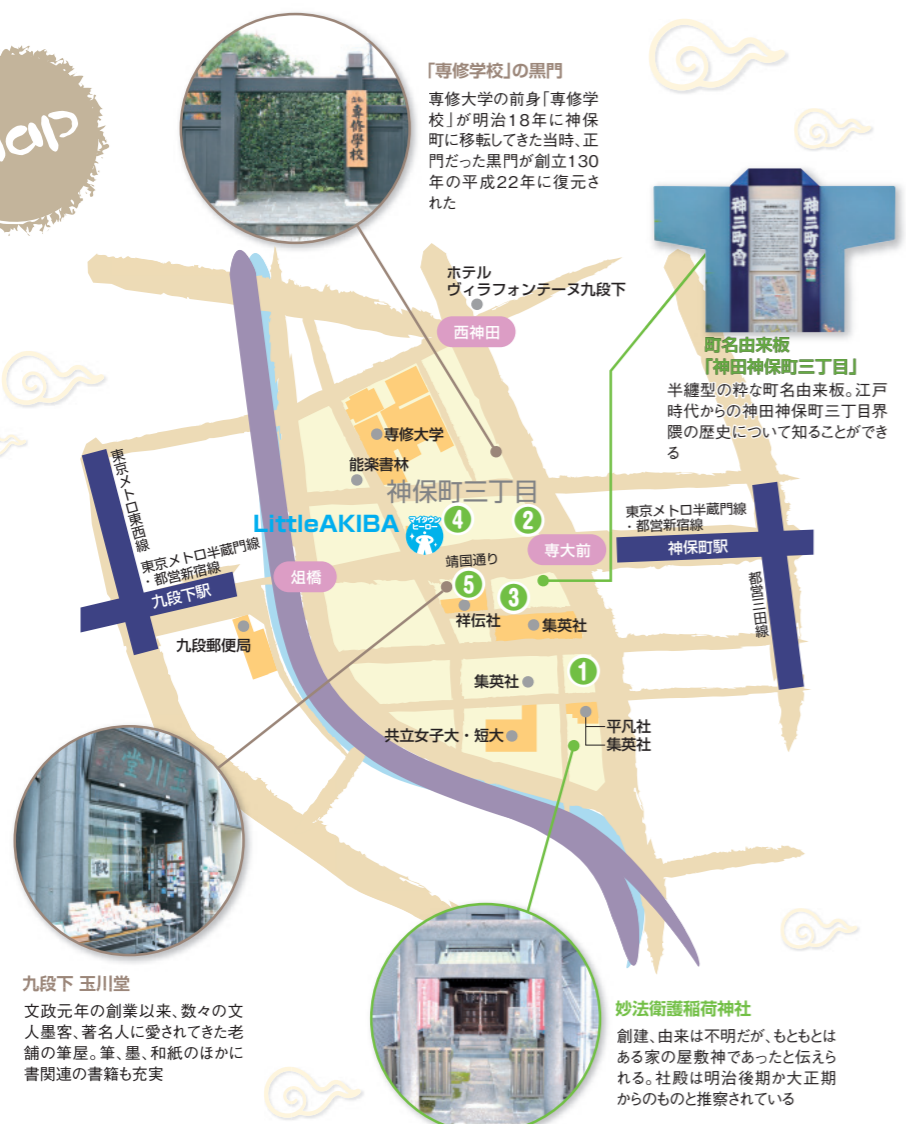
かんだじんぼうちょうさんちょうめ

神田神保町三丁目

この辺りは江戸時代には武家屋敷が多く、明治維新後は専修大学をはじめ、たくさんの学校ができました。そして、そこに留学する中国人留学生のために、安くて美味しい中華料理店が増え、大正期には横浜の中華街よりも多くのお店があったとか。また、「姐橋」は、江戸のはじめ、姐のような木を渡しただけの橋だったことからそう呼ばれているそうです。



Map



「専修学校」の黒門
専修大学の前身「専修学校」が明治18年に神保町に移転してきた当時、正門だった黒門が創立130年の平成22年に復元された

ホテル
ヴィラフォンテーヌ九段下

町名由来板
「神田神保町三丁目」
半纏型の粋な町名由来板。江戸時代からの神田神保町三丁目界隈の歴史について知ることが出来る

九段下 玉川堂
文政元年の創業以来、数々の文人墨客、著名人に愛されてきた老舗の筆屋。筆、墨、和紙のほかに関連の書籍も充実

妙法護国稲荷神社
創建、由来は不明だが、もともとはある家の屋敷神であったと伝えられる。社殿は明治後期が大正期からのものと推察されている



1 今荘
〒千代田区神田神保町3-15-1
☎03-3263-3061
☎11:30~14:00
休土・日・祝



2 大和屋履物店
〒千代田区神田神保町3-2-1
サンライズビル1F
☎03-3262-1357
☎10:00~19:00
休日・祝



3 神保町 黒須
〒千代田区神田神保町3-1-19
☎090-4383-3238
☎11:00~15:00
休日・祝



4 KLIMT
〒千代田区神田神保町3-2
九段ロイヤルビル104
☎03-3221-3445
☎11:30~15:00(月-金)
17:00~24:00
休日



5 源来酒家
〒千代田区神田神保町3-3
☎03-3263-0331
☎11:00~23:00(22:00L)
土日祝~21:00(20:00L)
休不定休

今月のエリアウォーク
6750歩
江戸や明治から続く老舗も多いエリア

歴史 明治時代より法律や経済を学びたい若者が集う、専修大学のキャンパス

1880年(明治13年)に創立された専修大学。創立者は、幕末の動乱を生き抜いた4人の若者、相馬永胤、田尻稲次郎、目賀田種太郎、駒井重格。明治維新後、米国に留学して学んだ彼らが、帰国後、経済と法律を本格的に教えるため、前身となる「専修学校」を作りました。地上15階地下3階建ての神田キャンパスには、法科の名門らしく、実際の法廷を再現した「法廷教室」もあるそうです。2020年には靖国通り沿いにも新校舎建設を予定しています。



→相馬永胤(左上)、駒井重格(左下)、目賀田種太郎(右上)、田尻稲次郎(右下)が明治会堂の一角を校舎として創立

専修大学 神田キャンパス
〒千代田区神田神保町3-8
☎03-3266-6677
www.senshu-u.ac.jp/

SPOT 滝沢馬琴や永井荷風も愛用した文政元年創業の老舗「九段下 玉川堂」

200年前から代々続く筆屋の「九段下 玉川堂」。「南総里見八犬伝」で有名な滝沢馬琴や、永井荷風、夏目漱石、谷崎潤一郎、森鷗外、与謝野晶子など、名だたる文人たちがこぞって愛用したお店です。昔は店舗のほかに「玉川亭」という茶亭(貸席)も開いていて、文人墨客らの集まりなどによく使われたそうです。店内には、犬養毅首相や乃木希典將軍から送られた額が飾られており、歴代の著名人・要人に愛されてきた歴史が感じられます。

九段下 玉川堂
〒千代田区神田神保町3-3
☎03-3264-3741
☎9:00~19:00(土~17:00)
休日・祝

→この辺りの歴史にもくわしい、七代目の齋藤彰さん

LittleAKIBA 代表 木宮雅徳さん

AKIBA文化を通して日本を世界にアピールしたい

もともとは紙媒体の編集を行っていましたが、2000年以降は電子出版へ移行。漫画をデジタル化し、多言語翻訳して世界に配信しています。東京オリンピックが決まり、もっとクールジャパン、「AKIBA文化」をインバウンド(海外からの旅行者)にアピールしようと「LittleAKIBA」プロジェクトを立ち上げました。漫画、アニメ、地下アイドル、コスプレ、メイドカフェなど「AKIBAコンテンツ」を通して日本を好きになってもらう、観光客を増やそうという趣旨です。そのために、海外のクールジャパンイベントに出向いたり、FacebookやYouTubeというソーシャルメディアを使って情報拡散したりというプロモーションを行っています。実際に海外のイベントに行くと、こんなに日本のポップカルチャーは人気があるのかと驚きます。彼らに情報を発信するには、多言語翻訳してインターネットでPRしていくのが一番。例えば、雑居ビルの中にあるメイド喫茶の情報も、現地の言葉で紹介し、スマホのMAP機能とリンクしてあれば、誰でも辿り着くことができます。今後インターネットを使って、どんどん日本を発信していきたいと思っています。



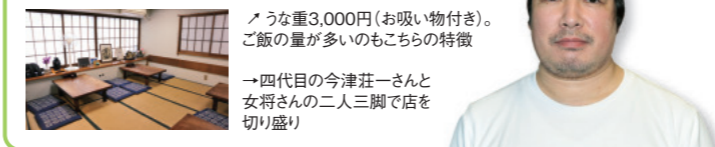
→「Touch the JAPAN 2016」で行われた、台湾のご当地アイドル「CANDY☆STAR」によるライブ

LittleAKIBA
https://www.facebook.com/littleakiba.tokyo/

1 今荘

4代続く老舗の鰻屋
メニューはうな重のみ

創業100余年。歴史を感じる佇まいは千代田区の景観まちづくり重要物件に指定されている。営業は昼のみ、うな重のみ。吟味した国産鰻を一度焼いてから蒸し、仕上げに再度焼きあげるふわっとカリッとした鰻は江戸前の味。



2 大和屋履物店

オリジナルの下駄が作れる
明治17年創業の履物店

50種類もの「花緒」と下駄台から好きなものを選び、オリジナルの下駄が作れる専門店。最近では海外からのお客様も多いとか。店内には店主の次女である型染め作家・小倉充子さんがデザインした「花緒」や手ぬぐいもたくさんある。

→4代目の今津荘一さんと女将さんの二人三脚で店を切り盛り

→歯が一本の高下駄(10,800円)も。小倉充子作の「花緒」(9,800円)と手ぬぐい(1,728円)

→三代目の店主・小倉進さんと奥さまのヤス子さん、長女の佳子さん

3 神保町 黒須

醤油が香る、話題の新店!
ネオクラシカル系ラーメン

昨年11月1日オープンの新店。大山鶏を使った鶏清湯に、芳醇で香り高い生揚げ醤油をきかせた、新しいタイプの「中華そば」が味わえる。全粒粉の細麺がすっきりとコク深いスープにマッチした、バランスの良い一杯だ。ローストビーフのようなチャーシューの肉飯も◎。

→中華蕎麦750円に味玉100円をトッピング。肉飯150円

→常に新しいラーメンを探求している店主の黒須太一さん。限定メニューも要チェック

4 KLIMT

優雅な空間でいただく
ほのぼのイタリアン

家庭的なイタリアンが味わえるお店。アンティークの調度品と絵画に囲まれた、雰囲気の良い店内には、夜はワイン好きが集まるそう。ランチタイムは、たっぷりチーズと卵の乗った焼きハヤシライスやカレーのほか、数種類のソースから選べるハンバーグも人気。

→宮崎県から取り寄せている壺漬けが乗ったオリジナルメニュー、焼きハヤシライス890円

→絵を描くのが趣味だというご主人の井上涼一さん

5 源来酒家

名物・麻婆麺の進化系!
チーズ入り汁なし麻婆麺

こちらの名物は麻婆麺。山椒の香りと豆板醤の辛味と、豆腐のまろやかさが一体となり、中太の縮れ麺とよく絡む、完成度の高い逸品だ。その進化系、チーズ入り汁なし麻婆麺をぜひどうぞ! チーズを目の前で、バーナーで炙ってくれるパフォーマンスもうれしい。

→チーズ入り汁なし麻婆麺1,300円(お昼は1,100円)はくせになる美味しさ

→数々の名店で修業をし、家業を継いだ神田生まれの三代目ご主人・傅登華さん